

令和4年度 ボランティアスタートアッププロジェクト

「WAKASAQUEST」 【R5.3.11(土)～12(日)】

◆目的

- ・活動、交流を通してよりよい人間関係を構築し、令和5年度の活動への意欲を高める機会とする。
- ・ボランティアに興味・関心を持っている学生たちへボランティア活動について再確認する機会とし、令和5年度の活動へと繋げる。

◆参加実績 (募集20～30名程度)

参加17名 (男性8名 女性9名)
 (高校生2名、大学生15名)
 【内法人ボランティア登録者14名】

◆プログラム

【1日目】

PM

- ・ 出会いの書～仲間のことを知ろう～
 【アイスブレイクゲーム・仲間づくりゲーム】
- ・ 共感の書～仲間の頭の中をのぞいてみよう～
 【活動前・後の変化についての振り返り・全体共有】

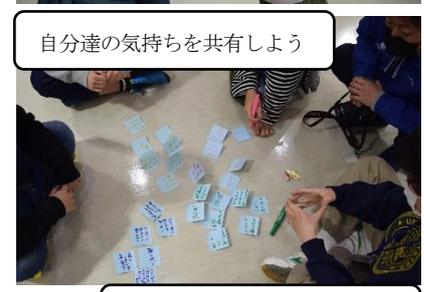
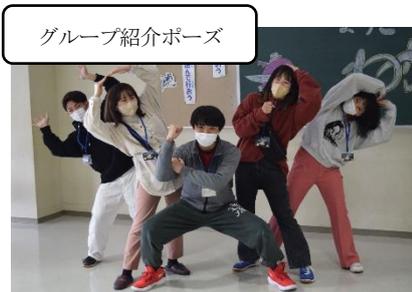
【2日目】

AM

- ・ 旅立ちの書～それぞれの春へ旅立とう～
 【グループワーク・課題解決ゲーム】

PM

- ・ 2日間の考察・振り返り
- ・ 令和5年度事業計画お知らせ
- ・ アンケート



◆成果

- ・活動中の会話やアンケートコメントより、活動を通しての交流や、自身の考えや気持ちを共有することで、より深い人間関係を構築できた。
- ・アンケート結果より、9割以上の参加者が事業に対して満足と回答。
- ・活動中の会話やアンケートコメントより「若狭湾で法人ボランティアをとりたい」「もっといろんな子ども達と触れ合って、いろんなボランティアの人達とも出会って沢山体験したい」等の声もあり目的に合ったプログラムを提供する事ができた。

◆参加者の声

- ・1年ボランティアをしてみて、他のボランティアや職員から学んだことを取り入れて頑張りたいと思った。
- ・この2日間で学んだことを活かして、海での活動をしてみたい。
- ・参加する前は、楽しみと不安や緊張した気持ちだったが、活動を班でしていくうちにどんどん仲良くなって、協力できたことから活動の流れは大事だと感じた。
- ・今まで関わり合いのなかった人達の考えと自分が考えた事を見比べて、新たな発見や気づきを得ることができた。
- ・自分達が考えた企画をやってみたいと話を聞いていて思った。
- ・毎回何かの目標をもってボランティアに参加したいと思う。
- ・今年度の自主企画では、ほとんど受け身の状態だったので、今後はもっと積極的に動きたい。
- ・自分の考えとみんなの考えの違いやみんなの素直な思いを知ることができて、もっと仲間達と交流して理解を深めようと思った。
- ・とにかく早く法人ボランティアの資格をとって、いつもとは違う環境でもっとたくさん活動したい。
- ・参加する子ども達が、今回自分が参加前と後で振り返りをした時のような気持ちの変化を実感出来るよう、来年頑張りたいと思います。

◆事業運営のツボ・工夫・反省

- ・個人→グループ→全体と段階を踏まえて交流し易いプログラム作りを行った。
- ・参加者間の自主的な交流や共有を行う為に、プログラム時間は余裕をもって計画した。
- ・担当職員間で各プログラムの内容を検討・確認し・実際に体験してみて、2日間の関わり方について共有し行った。